

岩手郡医報



目次
CONTENTS

巻頭言 岩手郡医師会 会長 高橋 邦尚	1
活動方針	2
各担当別事業計画	3
総会議事録 平成24年度第1回岩手郡医師会通常総会	4
第64回岩手県医師会総会・第128回岩手医学会（春季）総会	10
総務会議事録	14
役員会議事録	14
監事会議事録	15
各種行事報告	16
平成24年度岩手郡医師会等行事予定	17
仲間便り	19
会員の入会・退会・異動等	24

巻頭言



郡医報100号によせて

社団法人岩手郡医師会 会長 高橋 邦尚

今回の岩手郡医報は第100号の記念発刊となるそうである。平均2～3回／年の発行としても50年程の歴史をもつことになる。

その記念すべき発刊が、計らずも本年度の岩手県医師会総会の当番医師会の順番にあたり、新法人移行の時期にも重なった。これに私の会長就任が加わったなどと大それたことを言うつもりはさらさらしない。むしろ少し変わったことでもやってみたら？という神の思し召しのように思えてならない。と勝手に解釈して私は思うようにやらせて頂いている。

まず、会議の回数を減らし役員先生方の負担を少なくし、問題点は専門家諸氏及び各担当理事の先生方と個別に話をつめた上で、役員会・総会に御審議頂く形とすべく誠意努力中である。

また、費用節減の為iPadによる情報通知を徹底し、会議は滝沢村の商工会で室料1時間約700円、食事はお茶とコンビニのサンドイッチで済ませてもらっている。

役員・会員の皆様には大変な失礼をしていることは言うまでもない。ありがたい事に誰一人不平不満をおっしゃる先生方はなく、口にはしないがいつも手を合わせている。

さて、このようにケチケチと節約をし、某政党のように事業の見直しまでは行なった。これだけなら誰でも出来る。さて、ここからである。これからどんな事業を興し岩手郡医師会をどのような形のあるものにしていくか？これは私だけの力ではとても及ばない。経験のある先輩の先生方、現在私に力をお貸しいただいている役員の先生方、日頃惜しみなく働いてくれている事務方スタッフ、そして何より郡医師会会員の皆様の力を結集して新しい郡医師会の形を作り上げていくしか道はない。

その意味で、私及び現在の役員会に対するすべての御意見・御注意は偏見なく受け止めていくつもりである。また、それらが多ければ多いほどそれは私どもの力となると信じている。

— 活 動 方 針 —

本年度からの会長交代及び郡医師会事務局の移動に伴い、郡医師会のあり方も大きな転機を迎えていると考える。

本年度は、次のスタートにあたる時期であり、従来からのいくつかの課題を引継ぎながらも新しいシステムを構築し、確実な運営を起動に乗せるべく会員とともに努力して参りたい。具体的な事項についてのみ下記列挙する。

1. 総務部新設による情報の集中、及び検討内容の集約と整理
2. 地区担当理事の選任により、各地区での行政との連絡及び事業の取りまとめを行い郡及び県医師会と連携する
3. 郡医師会及び各地区での諸問題を洗い出し、協議・解決に努める
4. 会議の簡略化と経費の徹底した節減
5. 被災地支援事業の継続
6. 平成24年度岩手県医師会総会の準備と実施
7. 新法人移行への準備と実行

〈地区担当理事〉

滝沢村	栃内秀彦・紺野敏昭
雫石町	篠村達雅
岩手町	佐々木久夫
葛巻町	西島康之

(会長・高橋記)

—— 各担当別事業計画 ——

会 長 高橋邦尚
副 会 長 栃内秀彦・紺野敏昭・久保谷康夫

総務局 篠村達雅

- 1) 会議の開催に関する事項
- 2) 会員の動態把握に関する事項
- 3) 新規入会会員の指導に関する事項
- 4) 予算・決算に関する事項
- 5) 会費の賦課徴収に関する事項
- 6) 特別な会計に関する事項
- 7) 税務に関する事項

総 務 高橋邦尚・栃内秀彦・紺野敏昭
 久保谷康夫・篠村達雅

- 1) JMAT岩手への対応検討に関する事項
- 2) 平成24年度岩手県医師会総会への準備に関する事項
- 3) 新法人制度改定への対応に関する事項
- 4) 医療情報システム（IT化）の充実検討に関する事項
- 5) 郡医師会事務所の創設に関する事項
- 6) 郡医師会財政問題の検討に関する事項
- 7) 災害対策に関する事項
- 8) その他行政に関する事項

地域医療 各担当理事

- 1) 特定健診及び特定保健指導に関する事項
- 2) 各種予防ワクチン接種に関する事項
- 3) 介護保健に関する事項
- 4) がん検診に関する事項
- 5) 休日救急当番制の在り方の検討に関する事項
- 6) 健康教育に関する事項
- 7) 学校医・園医に関する事項
- 8) その他地域保健に関する事項

医療保険 久保谷康夫・佐々木久夫

- 1) 関連行政機関との連携に関する事項
- 2) 保険医療講習会の開催に関する事項

産業保険 森 茂雄

- 1) 産業医研修会の充実と開催に関する事項
- 2) 産業保健に関する事項

学校保健 山口淑子・金井 猛

- 1) 小児保健に関する事項
- 2) 母子保健事業に関する事項
- 3) 出産前小児保健指導に関する事項
- 4) 学校保健会への支援その他検診に関する事項
- 5) 小児予防接種に関する事項
- 6) 乳幼児健診・妊産婦健診に関する事項

勤務医 高橋 明

- 1) 病院に関する事項
- 2) 勤務医に関する事項

広 報 北上 明

- 1) 岩手郡医報編集及び発刊に関する事項
- 2) 新規ホームページ及びメーリングリストの作成・運営に関する事項

生涯教育 高橋 真

- 1) 認知症サポート活動の充実に関する事項
- 2) 自殺予防活動への啓発に関する事項
- 3) 糖尿病対策会議の推進に関する事項
- 4) 生涯教育に関する事項
- 5) その他臨床懇話会に関する事項
- 6) 医学振興に関する事項
- 7) 学術講演会及び検討会の開催に関する事項

健康教育 植田 修

- 1) 市町村民健康講座の実施に関する事項
- 2) 救急蘇生法研修会の開催に関する事項

診療所 篠村達雅

- 1) 在宅医療に関する事項
- 2) 有床診療所に関する事項
- 3) 各種疾患地域連携パスの普及に関する事項

医師連盟 栃内秀彦

- 1) 国政ならびに地方選挙への協力対応に関する事項
- 2) 医療政策に関する事項
- 3) その他医政に関する事項

—— 総 会 議 事 録 ——

平成24年度 第1回岩手郡医師会通常総会

招集通知日：平成24年 6月 7日(木)
日 時：平成24年 6月30日(土)
17：00～
場 所：盛岡市盛岡駅前北通2-27
ホテルメトロポリタン NEW WING
3階 桐の間
総 会 員 数：87名

出席会員数：23名
委任出席数：48名
司 会：副会長 久保谷康夫
開 会：理 事 高橋 真
議 長： 飯島 仁
議事録署名人：小山田喜敬、佐藤尚孝
閉会挨拶：理 事 高橋 真

平成23年7月14日松坂純一先生、平成23年12月28日鈴木祐八郎先生がお亡くなりになりましたので、全員で黙祷を捧げた。

会 長 挨 拶

高橋邦尚会長より、次の挨拶があった。
まず、6月24日に開催された第64回岩手県医師会春季総会への、会員各位のご協力に感謝する旨の言葉があった。

本日の通常総会では大きな決議が2点あるが、一つは平成23年度各会計の決算の件、もう一つは新法人移行に伴う新しい岩手郡医師会の定款作成の件であります。

今回の総会は、及川会長から私がバトンを受け取って初めての総会ですので、役員会、総会で報告させていただきました、平成24年度岩手郡医師会事業計画を読み上げます。

本年度からの会長交代及び郡医師会事務局の変更に伴い、郡医師会の在り方も大きくなり転機を迎えていると考えております。本年度は、次のスタートにあたる時期であり、従来からのいくつかの課題を引き継ぎながらも新しいシステムを構築し、確

実な運営を軌道に乗せるべく会員とともに努力してまいりたいと思います。

具体的事項のみ列举します。

- ①総務部新設による情報の集中及び問題点の集約と整理。
- ②地区担当理事の選任により各地区での行政との連絡及び事業の取りまとめを行い、郡及び県医師会と連携する。
- ③郡医師会及び各地区での諸問題を洗い出し協議解決に努める。
- ④会議の簡略化と経費の徹底した節減。
- ⑤被災地支援事業の継続。
- ⑥新法人移行への準備と実行。

活 動 報 告

議長が担当部会活動報告を求め、総務担当高橋真理事から平成24年1月28日に行われた通常総会以降の担当部会活動の報告があった。

①総務部

2月13日に臨時役員会を開催し新年度役員体制の確認をしました。岩手県医師会総会の役割分担を話し合いました。3月7日

第7回総務会で岩手県医師会総会準備のため岩手県医師会事務局との打合せをしました。3月14日第7回役員会で県医師会総会準備、岩手県医師会各種委員会部会幹事の推薦などを決めております。ペーパーレスと迅速な情報交換を目的にiPadが各理事に配布されまして今使い始めているところがあります。

また、新法人の定款は本日の総会で承認を受けた後、岩手県医師会を通じて岩手県に提出する予定であります。

②地域医療部

当番医補助金3,818千円、乳児等事務交付金1,950千円の用途については、新法人に移行した場合、全体の収支が黒字でなければ法人として認められないので、7月中に委員会を設置して検討していく予定であります。

③医療保健部

本年度診療報酬改定がありました、先生方にもFAXでお知らせがあったと思いますが生保の指定医療機関の個別指導が予定されております。

④産業保健部

毎年産業医研修会を開催していますが、今年も10月13日に開催する予定です。

⑤学校保健部

山口先生、金井先生に進めていただいておりますが、7月中に岩手県医師会学校保健部会が開催予定です。また、震災後の山田町の3小学校、陸前高田市の全保育園と小

中学校の健診応援は無事終了しました。

⑥勤務医部

6月17日に県医師会の勤務医部会があり平成24年度事業計画の中に、災害への病院機能の整備と備えが新しく加わっています。

⑦広報部

7月25日に県医師会の広報委員会が行われる予定です。

⑧学術部生涯教育

私高橋真の担当ですが、篠村先生と紺野先生のご提案で、今回初めてで先生方にはまだお知らせしていませんが、日本医師会の雑誌で毎号特集があり、それを利用して生涯教育の勉強会を開催したいと思っています。6月の特集が認知症なので、そのテーマで7月11日に紺野先生のご講演で勉強会を開催予定です。これは日本医師会の生涯教育の単位を取得できます。このように定期的な勉強会を開催したいと思っております。

⑨健康教育部

9月に救急蘇生講習会を岩手町で、10月・11月は住民健康講座を雫石町で開催予定です。その他に糖尿病対策協議会、自殺予防協議会、認知症研究会なども行われる予定です。

⑩労災部

本日報告することは特にありません。

⑪診療部

本日、県医師会の診療部会幹事会に篠村先生が出席しまして、医療安全、医療事故防止講習会は無床診療所も講習を受けなければならないことになったそうです。具体的な連絡は後になりますが、できるだけ講習を受けていただきたいとのことです。

⑫医師連盟

特に報告事項はありません。

活動報告については、特に質問・意見はなかった。

議 事

続いて議長は議事に入った。

第1号議案 平成23年度岩手郡医師会事業報告について

第2号議案 平成23年度岩手郡医師会一般会計決算（案）について

第3号議案 平成23年度岩手郡医師会休祭日当番医会計決算（案）について

第4号議案 平成23年度岩手郡医師会特別会計決算（案）について

議長より、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案は、一括して上程する旨説明があった。

事業報告及び各決算案について、篠村達雅総務担当理事より、別紙資料2から8に基づき説明があった。

監査報告

ついで、金井猛監事より、5月26日に監査を行った結果について資料9のとおり、社団法人岩手郡医師会の平成23年度の業務

および財産の現況について、会計帳簿および書類の閲覧により妥当であると認め、役員の業務執行についても妥当である旨、監査報告がなされた。

事業報告及び決算案について、議長が質問・意見を糺したところ、下記の質問があった。

上原先生：休祭日会計等の分配の件についてももう少し詳しく説明していただけませんか

篠村理事：休祭日会計の繰越金がありますが、新しい法人になると公益目的支出計画に基づいて支出しなければならないため、いまある3千万円は分配することはできません。今後、毎年5市町村から入る380万円程のお金をどうするか、それを全額分配するとなると、当番医1回当たり1万円位の分配になりますが、その金額が多いか少ないかは別にしてその位です。

また、乳幼児のお金については、県から県医師会にお金が入って、そのうちの52%を県医師会に、残りの48%が各郡市医師会に配分されています。各医療機関が乳幼児等を何人見たかの人数割りで入金されておりますが、あくまで事務委託金としての位置付けですので、本来の分配理由が不明です。このお金の分配については各郡市医師会によって違うようです。本来の主旨をよく見極めてからどうするか決めないとうまくないと思います。

新しい法人になった場合、法人全体で赤字になると法人として認めてもらえな

く解散となりますので、黒字にしなければならぬことから、今、新会長が経費削減に一生懸命取り組んでおりますが、全額分配することになると会費の値上げ等もあるかもしれないので、委員会を立ち上げて検討をすることにしております。

上原先生：会費で運営できなくて赤字になるかもしれないということですか。

篠村理事：経費削減で今年度の収支がどのようになるかはまだ見えないので、全部分配して結果的に赤字になると法人として認められないことになるので、もし、どうしても分配したほうが良いと委員会でもなっても、法人全体で黒字にしなければいけません。

上原先生：いままで黒字でやってきたのは、会費で足りない分を何で補てんしてきたのですか。休祭日当番医のお金はそれ以外には使えなかったわけですから一般会計には使っていないわけですね。

篠村理事：最初は休祭日当番医のお金はそれ以外には使えなかったわけですから、乳幼児等の特別会計から補てんしていました。

上原先生：乳幼児等のお金は補てんのために使っているのですか。

篠村理事：乳幼児等の使途についてはしばらくありませんでした。もともと県から県医師会にこのお金が入る主旨が不明です。

上原先生：会費と予算は、基本的に収入に見合った予算にすべきで、実施したい行事を決めて、それが会費で間に合わなければ特別会計から出すも良いし、会費を

上げるのも当然そうしなければ会をやっていけないだろうけど、そのところをよく考えて削るところは削り、どうしても会費を上げなければいけないのであれば、その主旨をよく説明してくれば会員も理解できると思う。あまり、ぎりぎり縮減してばかりもできないだろうからよく考えていただきたい。

山口理事：乳児については乳幼児等ということで、小児科だけでなく妊産婦の健診であるとか、生活保護とかも含まれ、県との事務委託費だったと思いますので、たとえば乳児健診を行った場合小児科の医療機関にはきちんとお金が入っているわけではないと思います。

その他、会費未納についての質問が出され、未納者には継続して督促をすることとした。

第1号議案および第2号議案並びに第3号議案さらに第4号議案について、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

第5号議案 理事辞任に係る総会承認等について

高橋邦尚会長より、及川忠人理事から本日の社団法人岩手郡医師会通常社員総会の終結と同時に理事を辞任する旨の、辞任届が提出されておりますので審議願いたいこと、辞任を承認いただいた場合、及川先生の岩手郡医師会への長年に渡るご貢献を勘案し、また、今後も我々のご指導をお願いしたいので、新体制の中で参与として就任

いただくことについても審議を願いたい旨提案がなされた。

第5号議案の、及川忠人理事の理事辞任及び参与への就任について、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

第6号議案 事務所変更に係る定款変更(案)について

高橋邦尚会長より、会長の交代により事務所の移転が7月吉日になされますが、事務所の変更については定款の変更案を総会で承認していただく必要があるため、資料11のとおり岩手郡医師会定款第2条の本会は事務所を八幡平市柏台二丁目8番2号に置くとあるのを、本会は事務所を岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢541番地に置く、と変更したい旨提案がなされた。

さらに、承認いただきたい事項は、事務局員の変更についてですが、東八幡平病院職員への委嘱を解き、新たに近谷正広及び高橋由佳の2名に事務局員を変更することについても審議願いたい旨提案がなされた。

第6号議案の、事務所変更による社団法人岩手郡医師会定款の変更案及び事務局員の変更について、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

第7号議案 新法人への移行後の岩手郡医師会定款(案)について

久保谷康夫副会長より、これまで何度か一般社団法人へ移行した場合の定款案について、総会の場で会員に説明してまいりましたが、岩手県医師会から各都市医師会の定款を県に一括して提出したい旨の通知が

あり、今日の総会で承認された定款案を提出していただきたいと会長に要請がありましたので、審議願いたい旨提案がなされた。

久保谷康夫副会長より、別綴りの新旧定款変更案対照表で説明があった。

一般社団法人岩手郡医師会定款案については、岩手郡医師会で独自に決めたということではなく、日本医師会を通して岩手県医師会が各都市医師会に示されたモデル定款をほとんど引用したもので、基本的には現在の定款を尊重して新しいモデル案を突合させて作成したものであります。

説明後、この定款変更案については、前段で申しあげました通り、岩手県医師会を経由して岩手県に申請することから、承認いただいた定款について岩手県から修正等の指示があると思われまますので、望ましいのはその都度総会を開催して承認していただくことですが、現実的には大変ですので、文言等の修正が必要な場合は理事会で決議してよろしいかも併せて審議願いたい旨の提案もなされた。

第7号議案の、一般社団法人への移行後の定款変更案及び承認後の定款修正について理事会に一任することについて、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

報 告 事 項

会長からの報告

①第2回都市医師会長協議会(6月2日)

・岩手県の医師会の警察医、検察医委員会を設置するとのことで、岩手郡医師会では岩手町の佐々木久夫先生にお願いする

ことといたしました。

・JMATの継続については、今なお要請がきていますが調整が必要なほど皆様から参加いただきまして、この場を借りて感謝申し上げます。

岩手郡医師会として県立山田病院に関しては62名約70%の会員が手を挙げて下さいました、また、陸前高田診療所には山口先生を中心に小児科・眼科・耳鼻科・皮膚科の先生達が20回以上の支援を今なお続けています、時間とともに変化するであろう地域の要望が今どうなっているのか、大まかでいいので今後の支援のゴールを示していただければ会員の地道な活動の強いモチベーションなると思う旨申し上げました。

②岩手県医師連盟執行委員会

特に大きな動きはなく、平成23年度の決算が承認されました。

報告事項については、特に質問・意見はなかった。

そ の 他

高橋邦尚会長より、事務所移転に係る通知については別添資料14のとおり後ほどご案内しますが、事務所の電話が019-699-2001、FAXが019-699-2002となる旨報告があった。

以上議事・報告事項を終了

18時05分 高橋真理事が閉会を宣言した。

みんなの **いわて** を
医 協

ご利用ねがいます

医療用品カタログ通販 5,000品目満載 最大89%引き

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料等々・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事務代行業

TEL.019-626-3880

購買専用
フリーダイヤル **0120-054-222**

FAX.019-626-3883

URL <http://www.ginga.or.jp/~isikyoo/>

E-mail isikyoo@rose.ocn.ne.jp

 **いわて医師協同組合**
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市栗園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

第64回岩手県医師会総会・第128回岩手医学会（春季）総会

日 時：平成24年 6月24日(日)
9：30～

場 所：盛岡市盛岡駅前通 1-44
ホテルメトロポリタン盛岡本館
4階 岩手

第64回 岩手県医師会総会次第

司会：常任理事 滝田 研 司

9：30～10：10

1. 開 会

副会長 岩 動 孝

2. 物故会員に対する黙禱

常任理事 和 田 利 彦

3. 岩手県医師会会長挨拶

会 長 石 川 育 成

4. 報 告

平成23年度庶務並びに事業報告

常任理事 本 間 博

5. 議 事

平成23年度歳入歳出決算について

常任理事 山 口 淑 子

6. 会員表彰

(イ) 表彰状並びに記念品贈呈

会 長 石 川 育 成

(ロ) 祝 辞

代議員会議長 小 泉 嘉 明

(ハ) 受賞者代表挨拶

7. 閉 会

副会長 小 原 紀 彰

11：35～12：35

特別講演

演題『医師会に望むこと』

—医師と看護師、
保健師との協力のあり方—

講師 聖路加国際病院理事長

聖路加国際病院名誉院長

日野原 重 明 先生

座長：岩手郡医師会参与
及 川 忠 人



9:15~9:30 岩手医学会評議員会

4. 閉 会

第128回 岩手医学会(春季)総会

司会：岩手医学会副会長 増田友之

10:10~10:25

1. 開 会

2. 会長挨拶

岩手医学会会長 小川 彰

3. 総会議事

議 長 岩手医学会会長
小川 彰

庶務報告 岩手医学会幹事
佐藤 洋一

10:30~11:25

特別講演

演題 『呼吸器疾患の新しい治療法』

講師 岩手医科大学医学部 内科学講座：
呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野
教授 山内 広平 先生

座長：岩手医科大学内科学講座：
心血管・腎・内分泌内科分野
教授 中村 元行



挨拶



本年4月より岩手郡医師会の会長を務めさせて頂いています高橋と申します。

第64回の県医師会総会の当番を承り、県医師会事務局のご指導を得ながら郡医師会会員の協力をもって本日を迎えました。

まずもって、このたびの県内各地域からの諸先生方の御出席に、心より感謝申し上げます。また、貴重な御講演を頂きました山内先生、日野原先生、ありがとうございました。

さて、岩手郡医師会は5市町村と多くの自治体の集合であり、地理的にも盛岡市近郊の滝沢村から遠くは葛巻町にと広域にわ

たっております。

私は新しく会長職をさせて頂くにあたり“岩手郡全体を1つのものとしてまとめる”というよりも、むしろ各市町村で実際に仕事をしておられる先生方に、地域の保健事業その他をお任せすることそしておのおの問題を郡医師会に持ち寄って郡全体で解決を目指すということを提案させて頂きました。

我々岩手郡医師会の名誉顧問であります高橋牧之介先生がいわれた言葉がございます。“郡から県へ、県から国へ”という言葉です。これに基づいてまずは5市町村の声を聞き、それらを岩手郡として取りまとめた後、県そして国まで届けたい。というのが私共の目標であり希望でございます。

これらのことをふまえて、県医師会及び各郡市医師会の皆様の今後の御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。

簡単ですが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第64回県医師会総会
実行委員長 高橋 邦尚



日野原先生を囲んで



紺野副会長 開会のあいさつ



佐々木久夫先生
生瑞宝双光章受賞おめでとうございます。



太田（前岩手郡医師会事務局長）さん、
お疲れさまでした。



よろしくお願ひします。



御協力ありがとうございました。

— 議 事 録 —

第1回岩手郡医師会総務会・理事会合同役員会

日 時：平成24年4月25日(水)
19:00～

場 所：滝沢村商工会館

出席者：高橋邦尚、柄内秀彦、久保谷康夫、
紺野敏昭、佐々木久夫、篠村達雅、
及川忠人、高橋 明、森 茂雄、
山口淑子、北上 明、植田 修、
西島康之、金井 猛

報告事項

- (1) 第1回郡市医師会会長会議（4月7日）について
- (2) 新年度岩手郡医師会役員体制について

協議事項

- (1) 新体制理事の登記の現状について
- (2) 平成24年度郡医師会予算について
- (3) 県医師会総会（6月24日）の準備委員会について
- (4) 第1回岩手郡医師会総会（6月30日）開催について
- (5) 及川前会長の参与承認について
- (6) 新法人移行について
- (7) 郡医師会事務所の移転について

その他

- (1) iPadについて
- (2) 郡医師会ホームページについて

第2回岩手郡医師会総務会・理事会合同役員会

日 時：平成24年6月13日(水)
19:00～

場 所：滝沢村商工会館

出席者：高橋邦尚、柄内秀彦、久保谷康夫、
紺野敏昭、佐々木久夫、篠村達雅、
及川忠人、高橋 明、森 茂雄、
山口淑子、北上 明、高橋 真、
植田 修、西島康之、金井 猛

協議事項

- (1) 第64回岩手県医師会総会に係る業務分担について
- (2) 県総会参加者状況について
- (3) 懇親会等祝賀会の座席について
- (4) 懇親会メニュー案について
- (5) 祝賀会アトラクションについて
- (6) 県総会予算（案）について
- (7) 岩手郡医師会行事予定について
- (8) 第1回岩手郡医師会総会（6月30日）開催予定について

その他

- (1) コーヒーコーナーの設置について

第3回岩手郡医師会総務会

日時：平成24年6月27日(水)
19:00～21:00

出席者：高橋邦尚、栃内秀彦、紺野敏昭
篠村達雅、事務局（太田、近谷）

場所：滝沢村商工会館 2階

報告事項

- (1) 第2回郡市医師会長協議会について（6月2日）
- (2) 岩手県医師連盟執行委員会について
- (3) 新定款（案）について
- (4) その他（県医総会の参加結果及びお礼状について）

協議事項

- (1) 平成24年度岩手郡医師会第1回通常総会の開催について
- (2) 平成23年度岩手郡医師会一般会計等決算（案）について
- (3) 岩手郡医師会監事会について（5月26日）
- (4) 理事辞任に係る総会承認等について
- (5) 事務所変更に係る定款変更（案）について

その他

- (1) 事務所移転に係る通知書について

第1回岩手郡医師会監事会

日時：平成24年5月26日(土)
17:00～

出席者：高橋邦尚、栃内秀彦、久保谷康夫、
篠村達雅、西島康之、金井 猛

場所：滝沢村商工会館

協議事項

- (1) 平成23年度岩手郡医師会一般会計決算について
- (2) 平成23年度岩手郡医師会休祭日当番医会計決算について
- (3) 平成23年度岩手郡医師会特別会計決算について
- (4) 平成23年度岩手郡医師会事業報告及び役員活動等について

各種行事報告

会員・家族及び従業員の健康診断

- 日時：平成24年6月7日(木) 6:30～
- 場所：岩手町総合開発センター
- 日時：平成24年6月8日(金) 6:30～
- 場所：雫石町保健センター

滝沢村医療懇談会

- 日時：平成24年7月4日(水) 19:00～
- 場所：ホテルメトロポリタン盛岡本館
4階 姫神

次 第

司会進行：岩手八幡平歯科医師会副会長
平野 隆

1. 開 会
岩手八幡平歯科医師会副会長
南 舘 祐 二
2. 挨 拶
岩手八幡平歯科医師会会長
三 浦 幹 也
岩手郡医師会会長 高 橋 邦 尚
滝沢村村長 柳 村 典 秀
3. 乾 杯
滝沢村副村長 南 敏 幸
4. 懇 談
5. 閉 会
岩手郡医師会副会長 紺 野 敏 昭

岩手郡医師会・岩手郡歯科医師会 協議会
ご挨拶

本年4月より、岩手郡医師会会長を務め
させて頂いております高橋と申します。

私は日常の診療業務をこなしながら、
常々このような会が必要だと考えていた者
の一人です。

時折、近隣の歯科の先生から「抜歯予定
で〇〇の麻剤を使用し処置しますが、貴院
での意見を伺いたい。」といったようなお
手紙をいただきますが、歯科医の先生に納
得して頂けるような返事を書けていないの
ではないかと心配しております。

また、私は在宅診療を行なっているので
すが、口腔内のケアを怠ったとたんに患者
さんが発熱し、全身状態の悪化まで引き起
こしたといったことは、数多く体験して
おります。

以上のことを踏まえまして、この会が単
に我々の懇親の意味にとどまることなく、
お互いの日常診療のレベル向上、ひいては
患者さんのベネフィットに繋がるもので
あってほしいと考えております。

本年度より郡医師会は、いくつかの保健
事業をより具体的な形で支援することに決
めております。当然この会もその一つとな
ります。

この会が、回を重ねるごとに充実したも
のになることを期待しております。

岩手郡医師会
会長 高橋 邦尚

生涯学習勉強会 第1回認知症UP Date

- 日時：平成24年7月11日(水) 19:00～
- 場所：滝沢村商工会

平成24年度岩手郡医師会等行事予定

日時	行事名	会場
4月25日(水)	第1回岩手郡医師会総務会・役員会 合同会議	19時～ 滝沢村商工会
5月26日(土)	監事会	17時～ 滝沢村商工会
6月7日(木)	集団健診	6:30～ 岩手町総合開発センター
6月8日(金)	集団健診	6:30～ 雫石保健センター
6月13日(水)	第2回岩手郡医師会総務会・役員会 合同会議	19時～ 滝沢村商工会
6月24日(日)	第64回岩手県医師会総会・ 第128回岩手医学会(春季)総会	メトロポリタン盛岡本館4階 岩手・姫神
6月27日(水)	第1回岩手郡医師会総務局会	19時～ 滝沢村商工会
6月30日(土)	第1回 岩手郡医師会通常総会	17時～ メトロポリタンNEW WING 3階 桐 星雲東
7月4日(水)	滝沢村医療懇談会 (医師会、歯科医師会、行政)	19時～ メトロポリタン盛岡本館 4階 姫神
7月11日(水)	生涯学習勉強会 第1回認知症UP Date 講師 紺野先生	19時～ 滝沢村商工会
8月4日(土)	第3回郡市医師会長会議	16時30分～ 岩手県医師会館
8月8日(水)	第1回盛岡圏域医療連携推進会議	18時～ 盛岡広域振興局8階
8月10日(金)	岩手禁煙ネットワーク設立準備会 (代表 小西先生)	19時～ メトロポリタン盛岡本館 4階 かきつばた
8月11日(土)	岩手郡医師会総務会打合せ会	18時～ 栃内第二病院
8月22日(水)	岩手郡医師会総務局+地区理事会	19時～ 滝沢村商工会
8月25日(土)	岩手郡医師会学校保健部会	18時～ アイーナ8階 研修室817
8月30日(木)	ポリオワクチン説明会	19時～ 滝沢村役場3階
8月31日(金)	在宅カンファ	19時30分～ 葛外科にて
9月11日(火)	岩手県立中央病院地域医療連携委員会	18時～ 岩手県立中央病院 4階 大ホール
9月19日(水)	防災訓練 盛岡地区広域消防組合消防 本部 東北自動車道など事故想定訓練	14時～ 西根インターチェンジ
9月28日(金)	岩手地区学校保健部会研修会	14時～ 雫石町中央公民館2階
10月1日(月)	第1回岩手県盛岡地域産業保健セン ター運営協議会	19時～ 盛岡市医師会館2階
10月6日(土)	岩手県医師会第4回理事会 第4回郡市医師会長協議会 岩手県医師連盟執行委員会	15時30分～ 岩手県医師会館 3階 中会議室・視聴覚室
10月12日(金)	事務研修会	15時～ 岩手県医師会館3階

日 時	行 事 名	会 場
10月13日(土)	平成24年度岩手県医師会産業医実地研修会	14時～ アステラスファーマテック(株) 西根工場
10月17日(水)	平成24年度在宅救急当番医制委託事業 打合せ会	14時～ 滝沢ふるさと交流館 2階
10月18日(木)	平成24年度第2回盛岡圏域医療連携推進会議	18時～ 盛岡広域振興局 8階のB
10月24日(水)	かかりつけ医 認知症対応力向上研修会	
10月	第2回岩手県医師会総務局会	
11月	糖尿病推進会議	
12月	住民健康講座	
1月12日(日)	県医師会・県歯科医師会合同新年会	16時～ グランドホテル
1月17日(水)	第3回岩手県医師会総務会・役員会合同会議	
1月26日(土)	第2回岩手県医師会通常総会	17時～ ホテルメトロポリタン NEW WING 3階 桂
3月	第3回岩手県医師会総務局会	



防災訓練 盛岡地区広域消防組合消防本部 東北自動車道など事故想定訓練

新会長の英断に期待する

上原 充郎

4月、高橋邦尚君を会長とし、“岩手郡医師会新体制”がスタートした。すべての理事は自ら立候補して総会において承認された。ということは、理事一人ひとりが“俺は郡医師会をこうするのだという、確としたビジョン”があるはずだ。そのビジョンを出し合い、全会員と共に岩手県一の医師会に成長させることを切望する。

私は会員の一人としてのビジョンを持っている。それはそのまま、新体制に期待することである。

私の長年のそして最大のビジョンは、全会員参加型の医師会、会員の医師会離れをなくすることだ。約100人の会員数なのに、総会出席者はいつも20数名、4分の1程である。理事を除けば一般会員の参加は10人程だ。委任状をもって総会は成立している。委任状提出ということは、言ってみれば、どうでもいいということだと私は考える。寂しい限りである。なぜか？

今日までの総会は理事会での決定事項の伝達の会であって、話し合いの会ではなかった。会員が意見を発言してもそれが会の運営に反映されることはまず無かった。

「理事会で決定して提案した議事に何も知

らない一般会員が何を言うのか」というような理事の返答態度。場合によっては「お前は理事会の決定事項に反発した」と会う度に理事に言われたりすることもあった。発言することへの“空しさと恐怖”のため、発言する会員はほとんどいない。理事が特段優れた思考を持っているとは言い切れない。なぜなら理事といえども我々会員と同じ医師なのであるから、それゆえ、場合によっては総会提出議案を、一般会員の発言、発案で改訂するぐらいの弾力性のある医師会運営をすべきである。

以前、新人理事が理事会でいろいろ発言したら、「何も知らない新人が何を言うか」と言われ、間もなく理事を辞め、以後総会に出席しなくなった会員もいる。

会長たる者、理事たる者、広く会員の発言を聴き、特に反対意見を述べる会員の意見をよく聞き、咀嚼し、発展的医師会運営をすることを望む。

今までの岩手郡医師会の、良く言うと“伝統”に、悪く言うと“因習”に囚われることなく自分の理想とする医師会運営を実行することを切に望む。

日野原重明先生の特別講演に感謝して

社団法人岩手郡医師会参与
及川 忠人

2012年6月24日（日）、岩手郡医師会が担当する第64回岩手県医師会総会がホテルメトロポリタン本館4階を中心に開催され、その特別講演講師として聖路加国際病院理事長日野原重明先生を御招待し、盛会理に県医師会総会を終わることが出来ました。これまで、日野原先生の招待について県医師会はもとより岩手郡医師会諸先生方の御配慮と御協力、御支援があったればこそ盛会裡に総会が開催されたこと、岩手県医師会総会担当の責任を担うことが出来たことを心から感謝申し上げます。

2010年の9月に日本オスラー協会総会の席で日野原重明先生に久しぶりにお会いして、2012年6月の岩手県医師会総会に特別講演講師としてお招き申し上げたい旨お願いしたところ、次年秋は100歳の誕生日を記念する会合が多いが、翌年の6月頃であれば大丈夫との快諾を得て、聖路加国際病院理事長秘書山本氏との連絡を取ることになりました。

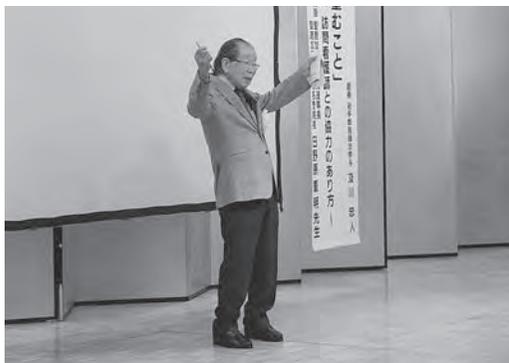
2010年10月下旬の岩手郡医師会定例役員会において日野原重明先生の県医師会総会の特別講演講師に招くことを承認を得て、1年10ヶ月が早くも経過しておりますので、これまでの日野原重明先生と若い医学部医学進学過程の時代からの出会いの概略



を合わせて述べ加えたいと思います。

小生が岩手医大に入学したのは1965年（昭和40年）4月であり、医学進学課程2年の冬2月上旬に日本キリスト者医科連盟（JCMA）北海道部会が主催した日高地域での医療奉仕活動（Field Work）に参加致しました。北海道の荒廃した村落を訪問しつつ診療奉仕活動がなされ、日野原重明先生（50歳代の後半の頃）も一緒に参加され、実際的な御指導を受けました。その中の検討会で、信仰の持ち方の話題になり「我々は寄留者でありその国籍は天にある」と云われた日野原先生の言葉が印象的であり今でも記憶に残っております。それ以来医学部卒業後も何度か日野原重明先生の御講演を聴く機会がありました。

小生が1981年東八幡平病院に赴任して後1987年に日本キリスト者医科連盟総会を財



団理事長の伊崎正勝先生を会長として八幡平で開催することになり、日野原重明先生を特別講演講師として迎えることになり、その講演内容も機関誌「医学と福音」に掲載されて、楽しみにしていたのですが、ご体調を崩されて、御出席が出来なくなり、とても残念な思いが致しました。

2000年10月に盛岡市マリオスで小生が大会長として主催した「リハビリテーション・ケア合同研究大会2000」にも日野原重明先生を特別講演講師としてお招きして、素晴らしい御講演を頂き、特にリハビリテーションの先達であるラスク教授のリハビリテーションの定義のルーツを掘り下げたお話も印象的でありました。また「葉っぱのフレデイに学ぶ」という著書を頂き、レオバスカリアの唯一の童話を少しでも多くに方々に知って頂こうとする情熱を持たれ、たまたまO.Henryの短編集に「一枚の枯葉」というエッセイがあり、その短編の英訳版をお送りしたところ、日野原先生はこの著作を知らなかったとのことで、小生に御礼の電話を頂いたことが印象的であり先生の探究心に感心致しました。またその頃から「新老人の会」の立ち上げに努力されていて、その趣旨を伺い著書を頂き大変参考になり、今回は講演後「100歳の

金言」という著書を送って頂き、100歳とは思えないご活躍にただ脱帽のみでありました。

当初岩手県医師会総会担当として、八幡平にて岩手県医師会総会を開催する計画を建てましたが、日野原重明先生のご高齢で負担をなるべく少なくすること、緊急時の対応体制等に万全を期すことなどが、役員会で慎重に審議され盛岡市内で総会を行い、岩手医大救急科に対応を依頼することで役員会の承認を得ることになりました。

また御講演の後に交流会を開催する中で、もし出来れば日野原先生の信仰についての講話会を開催出来ないかと模索したのですが、100歳を越えられている中で、二つ以上の行事を重ねることは避けた方が良くとの意見もあり、その企画は行わないことにしました。超多忙で一年に100回以上の御講演をこなし、年に数回の海外旅行を行ってこられた日野原重明先生をお招きし、「医師会に望むこと－看護師・訪問看護師との協力について－」という演題を頂きましたが、とてご多忙なので、講演内容のレジメを頂くことは当初無理であろうと予測していたのですが、約1週間前にメールで送付するとのご連絡を頂き、恐縮しましたその熱意に感激した次第でした。

当日はやぶさ1号にて10時32分に盛岡駅に到着し、同行した御次男の奥様とともにホテルの控え室御案内したところ、最初にご自分の血圧測定をおこない、ノートに記載してもらうことから活動が始まりました。さすがにご自分自身の健康管理に注意を怠らない、日野原先生に感心致しました。県医師会総会の特別講演では終始ご起

立のままで70分ゆっくりとした口調でお話になり、ところどころに楽しいユーモアを入れた、素晴らしい医療の歴史的ふりかえりとチーム学習に関する最先端の内容（TBL：Team based Learning）であり、とても100歳の先生の御講演とは思えないレベルの高度な内容であり、多くの医師会員へ感銘を与えました。講演の前に「椅子と水」は用意しないで下さいとの指示が郡医師会事務局に連絡があり、県医師会本部との情報が共有されないことがありました。しかしながら101歳を迎えようとする日野原先生の元気さに、唯々敬服するのみでございました。日野原重明先生の学識とご経験と100歳になられても矍鑠として進み、好奇心に溢れて活躍される姿に医師会会員の全てが深い感銘を受けたことは感激でございました。

交流会や叙勲表彰祝賀会にも全て参加され、マリンバによる宮沢賢治のナレーションを含む音楽を堪能しとても喜んでおられました。特に日野原重明先生は日本音楽療法学会の理事長の立場もあり、その感激は大きなものであったようでした。また数週間前の朝日新聞の毎週土曜日の「百歳・証あるがままに行く」に「宮沢賢治からもらった感動」とのタイトルで県医師会総会に参加印象記が記載され、宮沢賢治が明治三陸大津波と昭和三陸大津波の間の生涯であり、さらに若い時代にバプテスト教会の礼拝にも出席したということも記載され、感銘深い記事にその感性と表現力の豊かさに感激致しました。

日野原先生の存在は将来に「日本の人間国宝」のような存在であり、今回身近に日野

原先生に接することが出来たことは、学生時代から日本キリスト者医科連盟に所属し、長い出合いを振り返る時、とても大きな感謝の気持ちが心から湧いて参りました。「日野原重明100歳」というNHK出版からの著作が昨年10月に出版され、その著書の後半で奥様と自分の死について触られ、その時にどのように自分が振舞えるか自信がないことを正直に告白されております。私は日野原先生の生身の人間としての暖かさと人格の素晴らしさが迫ってくる思いが致し目頭が熱くなりました。

100歳の現役医師としてまた人生の師としての日野原重明先生との出合いを神様の恵みと受け止めて、少しでも先生の生き方に学ぶ努力を今後とも続け、医師会活動への縁の下の力になることが出来ればと願っております。岩手郡医師会新会長高橋邦尚先生をはじめ顧問高橋牧之介先生他多くの諸先生方の御助言、御指導を得たおかげで無事、日野原先生招聘の大きな責任を果たすことが出来ましたことを重ねて感謝申し上げます、岩手県医師会総会開催の成功を共に喜びながら日野原先生との招聘経過を中心とした約2年に亘る活動の諸報告とし、末筆ながらさらなる岩手郡医師会の発展を心から願っております。



地域住民から見た地域医療と医師会の役割について

医療法人 敬仁会 介護老人保健施設アットホームくずまき
理事長 西島 康之

仕事柄、高齢者の介護や医療に関する相談を受ける中で「自分は長生きしたくない。」「ぽっくり死んでしまいたい。」長生きすることに何の意味があるのか。」という声が聞かれることが度々ある。長生きすることで寝たきりになって家族や地域に迷惑をかける位なら元気なうちに亡くなりたいという理由であった。その言葉の裏には「本当は地域や住宅で生活はしたいのに…」という強い気持ちが含まれていて、この「長生きしたくない」という言葉の中に現在の日本における福祉の問題点が垣間見えてくる。

ここ近年の社会福祉政策は、国民が住み慣れた地域や住宅での生活をいつまでも継続できるようにシフトしてきている。ただ、まだその制度が現実社会に於いて機能していないことに問題点があると考ええる。

人間は誰しも住み慣れた地域や住宅でできる限り生活したいとは考えているものではあるが、現実問題として核家族化が進み、地域社会が崩壊してきている中で最後までその地域で暮らすことは難しい問題である。

特に僻地や農村部においては深刻な医師不足問題があり、郡市部においては看護師不足が深刻である。そのため、高齢者や子

供を持つ親は何かあった時にすぐに診てもらえて安心できる地域医療を強く望んでいる。

地域医療には「平等」、「安心」そして「信頼」の3つが必要であると考ええる。

「平等」とは、住んでいる地域によって医療福祉の地域格差がないことである。必要な人に必要な量の医療制度が受けられる体制づくりが必要である。

「安心」とは、誰しもがいつでも適切な医療や介護が速やかに受けられることである。最後に「信頼」は、心許して相談できる関係性のことであり、地域に根差した医療福祉のことである。

地域医療は医師会だけでは達成できないものであり、地域行政を中心として地域福祉団体、または民生委員等との連携を図らないとできない問題である。そういった意味で医師会は今後、地域行政や地域の福祉関係団体等との積極的な連携を求められている。我々はその期待に応えなければならない。

在宅医療や在宅介護が今後の社会福祉政策の流れとなっている中で、地域に根差している医師会の役割は今後ますます重要となってくると言えるだろう。

会員の入会・退会・異動等

【入会】

(平成24年10月1日現在)

入会月日	所属施設名	氏名	前所属施設名
4月1日	岩手沼宮内クリニック	岡本和美	盛岡市医師会からA1
4月1日	葛巻病院	大崎拓也	新規入会
7月1日	葛巻病院	阿部郁夫	宮城県から(仙台市は加入)
10月1日	にしね眼科	藤原貴光	八幡平市西根町へ新規開業A1
10月1日	山口クリニック	山口晶子	B会員(新規入会)

【退会】

(平成24年10月1日現在)

退会月日	所属施設名	氏名	備考
3月31日	栃内第二病院	伊藤伊一郎	奥州医師会へ

会員数の状況

10月1日現在の会員数 90名

編 集

発刊が遅れておりました郡医報100号をお届けします。

後 記

今回は県医師会総会記事もさることながら、各地区の先生に無理をお願いして原稿を寄せて頂きました。ありがとうございます。

昨年度は、総会議事に関して決定事項が録音されていなかったとのことで、いくつかの問題が生じました。今回からは、議事はすべて録音し出来るだけ忠実に文字に起こす事を心がけます。これにより郡医報は、大切な議事録文書の役割を果たすこととなります。

今後も皆様の御協力をお願い申し上げます。

高橋 邦尚

今回初めて広報担当になりました。まだ何もわからず、ほとんどすべて会長にやっていただき、心苦しい状態です。これから会員の先生方に読んでもらえる会報作りに頑張りたいと思いますのでよろしくをお願いします。

北上 明

岩手郡医報：No.100／2012年10月発行
発 行：社団法人 岩手郡医師会
発行責任者：岩手郡医師会会長 高橋 邦 尚
事 務 局：〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢541番地
TEL 019-699-2001 FAX 019-699-2002
<http://www.iwatagun-med.or.jp>
制 作：社団法人 岩手郡医師会広報部